

令和5年 宅地建物取引士試験合格

手頃な値段で、直前期まで安心して学習 できた

千崎 健太郎 さん

20代 会社員

2023 入門総合カリキュラム

カリキュラムの学習期間：5か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

宅建の資格は日本の中でも有名な資格で受験者数も多いことから取得することで自分の自信にもつながることから以前から宅建の資格取得に興味をもっておりアガルートなら安く勉強できますし今後の人生の何かに役立てばと思い受験しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

宅建の受験を決めた日からネットで様々な予備校を検討していましたが、どこも5万円を超える金額で安く手軽に受講出来るものではなかったのですがアガルートならかなり手軽な金額でしたし直前まで別の講座をアガルートで受講しており勝手にも分かっていたのでアガルートにしました。

合格体験記・学習上の工夫

最初に入門総合講義の動画をすべて視聴しその後過去問にとりかかり過去問解説動画や総まとめの動画を分からない部分のみ視聴しながら過去問を繰り返し解くことを続けました。正直、過去問さえ繰り返し解きよく問われている論点や数字のひっかけなどに気を付けながら学習するだけで十分に合格できるレベルに達することができると思います。模擬試験なども活用しましたが過去問で問われていることが問われ方を変えても正確に答えることができるかの確認をするために活用するのがいいと思います。

勉強時間が想定していたよりも多くとれたのでアガルートの教材を一通り学習が済んで

から他社が発売している市販の教材にも手を出したりもしていましたが今となっては特に必要ないことをしていた気がします。本試験の手ごたえとしてはあまりなく大丈夫が不安でしたがネットで出ている解答速報を確認してみると42点取れていたのがアガルートで学習してよかったです。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

学習の最初にすべての動画を視聴してから過去問に取り掛かりましたが、過去問に取り掛かるころにはすべて忘れてしまっていたので、過去問も單元ごとに分けてくれているので動画も單元ごとに区切って動画を見てから過去問をやる、というのを繰り返し進めていくほうが頭に入ると思いました。講義の進め方としては私は動画を見ていてかなりゆっくりだなと感じたので1.2倍速か1.5倍速で視聴するのがいいと思います。あと、過去問の進め方として宅建業法、法令上の制限、税その他、民法の順番で学習するのがいいと思います。得点につながりやすい分野から進めたほうが本試験のためになりますし勉強を繰り返していくだけですぐにできるようになると思うので、自分の学習のモチベーションにもつながりやすいと学習を通じて感じました。逆に民法は過去問では問われていなかった部分が本試験では多くでたので、過去問をやることで正解できる部分だけ正解できたらいいやぐらいの気持ちで本試験に望んだほうがいい気がします。私自身、民法は半分ちょっとぐらいの8点しかとることができませんでした。

宅建の学習を通じて取り組んだことの99パーセントは過去問をやりこむことでしたので過去問のありがたみが分かった試験でした。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

正直あまり利用していません。なぜなら解説に書かれていることで大体のわからないことは解決しますし、いろんな問題に触れ繰り返し解くことで勝手に理解できる内容だったことも多くあったので、たまにどうしても分からない問題の部分だけ視聴するといった利用方法でした。

ただ、どうしても過去問を解くなどの勉強するやる気が起きない時にごろごろ寝ころびながらケータイで過去問解説動画を見るだけでも勉強になることもあったのでどうしてもやる気が起きない時は活用してみるのもいい手かもしれないです。解説文を見るより動画としてみたほうが頭に入りやすいことも多くあると思うので自分の苦手分野を中心に復習をかねてみるのがいいとおもいます。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

総合講義と過去問解説動画だけで学習をすすめていたので直前期に本試験で出そうな部分や自分の苦手分野を視聴するといった活用方法でした。

本試験直前になってから初めてみたのですが、過去問で問われている部分を中心にかなりコンパクトにまとめていてくれて総合講義よりもみやすかったので、もっと早くから視聴しておけばよかったと思いました。

令和5年 宅地建物取引士試験合格

初学者でも理解しやすい入門総合講義のおかげで合格できた

野村 怜央 さん

20代 学生

2023 入門総合カリキュラム

カリキュラムの学習期間：6か月

宅建試験の受験回数：1回目

宅建試験を目指した理由・契機

まず私は大学2年生で、2年の内に何か一つ資格を取りたいと考えていました。その中で大学2年時は大学生活の中でもいろんなことに挑戦する時間を確保できる期間だと思い、個人的に難関資格にチャレンジしたいという結論に至り、1年に1回試験が行われる宅建に興味を持ちました。ただそれだけではなく、親の勧めや宅建を取ると就活の時に幅広い分野で有利になることなどを考慮した上で目指すことを決めました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

私は宅建の知識が1ミリもない状態だったのですが、1年間で確実に合格したいと思い独学だと厳しいと考え、宅建の講座を探し始めました。そんな中色々調べていくとアガルートが講座の評判もよく、合格した時には合格特典が付いてくるということでアガルート宅建講座の受講を決めました。

合格体験記・学習上の工夫

まず私はアガルートのカリキュラムを最後まで全うすることによって宅建合格を掴み取ることができました。試験前に意識したことはテキストを何回も繰り返すことです。私は大学受験を通して、何かを暗記する時には何回も復習することが大切だと感じたので、その経験を活かして今回も同じように実行しました。実際には10回以上繰り返しました。そこで特に重点を置いて復習した分野は宅建業法です。宅建業法は宅建に合格する上で1番

重要であると講師の方も仰っていたので力を入れて取り組みました。それとは逆に権利関係は暗記するだけでは点数につながらないと感じたので、何回も繰り返すというよりもしっかり理解をすることを意識して取り組みました。そのおかげで権利関係でも点数を稼ぐことができたと思います。法令上の制限や税その他に関しても何回も繰り返すことを意識して取り組み、免除科目の勉強は試験2週間前から始めました。アガルートのテキストのおかげで免除科目の点数は満点でした。今年の宅建試験は免除科目が難しめだと言われていましたが、個人的にはそんなことはなかったと感じました。勉強時間に関しては、4月の後半からはほぼ毎日1～2時間取り組み、試験の直前期には5～6時間ほど勉強しました。継続して取り組めたことが合格につながったと思います。

入門総合講義のご感想・ご利用方法

市販の宅建テキストよりも見やすいアガルートのテキストと宅建初学者でも理解しやすい講師の説明のわかりやすさがとても印象的でした。また、講師の講義は受けていて楽しかったのでスムーズに講義の視聴を進めることができました。私は1日一つの項目の講義をすべて見るという形で取り組みました。なので勉強を開始した当初は前日に視聴した講義の復習と新しい講義の視聴の二つを行い、その繰り返しをしていました。そこで意識したことは、できるだけ早く権利関係と宅建業法の講義視聴を終わらせて理解することです。その二つが宅建において最も重要だったので、早い段階でインプットするように心がけました。入門総合講義の動画の視聴時間が短めだったので隙間時間に取り組むことができたのも個人的によかったです。また動画視聴を終えてテキストのみで勉強している時に忘れてしまった部分だったり、難しいところはもう一度動画を見るようにして理解を固めていました。それから重点的に取り組んだほうがよい部分を講師の方が教えてくれていたので、そのアドバイスのとおりに勉強を進めていました。もう一度、宅建を受験することになったとしてもアガルートの講義を受講して勉強すると思います。この入門総合講義のおかげで宅建に合格することができました。

過去問解説講座のご感想・ご利用方法

過去問解説講座では、四択の中の正解の部分だけを解説するのではなく、他の選択肢についてもなぜそれが間違っていたのかということも解説してくれたのでとてもわかりやすかったです。そのおかげで問題を解くときに四択すべての選択肢についてどこが間違っているのか、逆にどこが合っているかを考えながら問題を解く習慣を身につけることができました。また、講師の解説もわかりやすく面白かったので、進んで過去問解説講座に取り組むことができました。それから過去問解説講座を視聴している中で、この問題は後回しでいいなどのアドバイスをしてくれていたので勉強する優先順位をつけながら取り組むことができたのも合格につながったと感じました。私の過去問解説講座の利用方法については入門総合講義の視聴をした後すぐに取り組むようにしていました。

令和5年 宅地建物取引士試験合格

講義後すぐに過去問演習というサイクル で理解を深めていった

和田 英之 さん

20代 会社員

2023 演習総合カリキュラム

カリキュラムの学習期間：6か月

宅建試験の受験回数：4回目

宅建試験を目指した理由・契機

元々大学でまちづくりや土木関係のことを学んでいました。大学の中でまちづくりや土木の技術的なことはざっくりと学んでいましたが、さらに別の角度から学びたいと思って、まちづくりが関係する資格でも有名な宅建試験を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

他社の通信講座を使って3回ほど受験しましたが、いつも合格点から数点足りなくて不合格でした。その通信講座は初期費用が安かったので利用していましたが、後から追加教材や模擬試験に別料金が掛かり、結局それなりに費用は掛かっていました。結局、合格するのに妥協はしたくないけれどお金が掛かるのも嫌だなと考えていたところで、合格したら全額返金のアガルートアカデミーを見つけて申し込みました。

合格体験記・学習上の工夫

学習習慣については、毎日勉強することを心掛けていました。平日は仕事があるので1時間から2時間程度、休日は4時間程度勉強していました。理想としては毎日勉強しなければならないと思っているのですが、強い義務感を感じてしまうと取り掛かるまで時間が掛かってしまって逆に勉強効率が下がることがあったので、たまには何もしない日を作って思いっきり好きなことをして気分転換をするようにしていました。そうしたら、資格勉強へのモチベーションも戻って勉強効率は上がったと思います。学習方法については、何

度か宅建を受けていたので既にある程度の知識はあるんですが、逆にどの知識をつける必要があるのか判断するのに苦労しました。中途半端に覚えている知識があったりして、その知識を正しく覚え直すのが大変でした。自分の場合、これまでどれだけ勉強してきたか見返せるように問題の解答は選択肢ごとに○と×をノートに書くようにしていました。こうすると個数問題で解答の個数は合っているけれど、解説とは正誤が違っているという時に、しっかりとどれが誤って解答したかわかるようになるので便利ですし、前回解答した時の記録も残っているので同じ間違いをしていないか確認できて便利でした。

演習総合講義のご感想・ご利用方法

とてもわかりやすく進めやすい教材でした。講義を聞いた後にすぐ過去問で演習のサイクルが個人的にもとても合っていて、理解していることが実感できて楽しかったです。勉強する順番としては民法などの権利関係、宅建業法、法令上の制限、税その他という順で行いました。権利関係は講義が長いですが問題数が少ないので、基本的に講義を聞いていることが中心だったと思います。しかし、次に勉強した宅建業法では講義が短いものがあつたり、時にはどこで区切るか迷うほど長いものがあつたりして、分野によって分け方が異なるのだなと思いました。特に、法令上の制限では1章がとても長くて驚いたのを覚えています。講義の後に過去問で演習のサイクルは権利関係ではとてもやりやすくて時間の区切りがつけやすかったです。逆に法令上の制限では1章が長いので今日ではどこまでやろうか迷うことが多々ありました。総合講義のテキストと過去問集がリンクしていたのでまず1周し、解いた問題の正誤をエクセルにまとめておいて、間違いが多かった科目からまたやり直すということがとてもやりやすく、効率的に苦手な科目の発見と復習ができました。また、総合講義のテキストの事項索引はとても便利だと思いました。過去問集で解説を読み知識をもっと深く掘り下げたい時にテキストの事項索引から該当する箇所にとり着いて理解を深めました。

総まとめ講座のご感想・ご利用方法

本番試験の直前にとても役に立ちました。とりあえず総合講義と過去問集を1周したところで全体の知識の整理をするために総まとめ講座に取り掛かりました。各章ごとに大まかな内容が書かれていて、正直言ってわかってて当たり前じゃないかという内容で大体の問題は正解できました。しかし、その中でも間違ってしまう問題があったのでそこは目印をつけて後で復習できるようにしました。

直前答練のご感想・ご利用方法

模擬試験とほぼ同じような感覚で使用していました。総合講義と過去問集をして総まとめ講座が一回りしたところで、一度直前答練を行ってみました。本番と同じ問題数でしたので、実際に試験で問題を解き終わるのにどの程度時間が掛かるのか掴めて、問題用紙と解答用紙が本番と近いものであったため緊張感を持って臨むことができましたし、本番に近い問題で正解をしっかりと判断できるのかを確認することができました。さらに1問1

令和5年 宅地建物取引士試験合格

苦手分野の民法は講義を覚えるくらい音声を聴きました

三浦 桂 さん

40代 主夫/主婦

2023 演習総合カリキュラム

カリキュラムの学習期間：3か月

宅建試験の受験回数：3回目

宅建試験を目指した理由・契機

結婚後、家庭の都合で離職期間が長くなっており、社会復帰する際に何か資格があったほうが自信になると思っておりました。

数年前にFPの資格を取っていたので、少し関連があるもので資格を取りたかったことと、何度か引越しの経験があったので単純に不動産業界に興味を持ったことが受験のきっかけになりました。

アガルトアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

過去受験した際に、あと1点が足りないという状況が続き、宅建業法や法令上の制限等は暗記でどうかなるかもしれないと思っていましたが、民法にとっても苦手意識が強くありました。

これを克服できないと、次も同じ結果になるだろうと受験をするか迷っていました。

駆け込みで受験の申し込みをして、独学以外で挑戦してみようと決めてからはネット等でいろいろな情報を集めました。

合格率が他と比べて高く、オンラインで学べるということがポイントでした。

サンプル動画を視聴し、民法に拒否反応がある私でも、すんなり入り込めた講義内容が受講の決め手になりました。

合格体験記・学習上の工夫

過去の受験で自分の弱点が民法だと思っていたので、宅建では民法の深入りは禁物と聞いていましたが、少しでも苦手意識を改善させたいと思い民法から学習を始めました。

サンプル動画でも、とても分かりやすく入り込みやすかった工藤先生の民法の講義は、動画視聴、テキストへの重要点の書き込み、音声データとフルに活用しました。

もう先生の言い回しを覚えてしまうくらい、視聴速度を上げたりしながら何度も民法の音声データを聴いていました。

隙間時間を使って何度も暗記するつもりで聴き続けたのがとても役に立ちました。

実際、本試験の時には私の頭の中では工藤先生の講義が頭の中で流れることが何度もありました。

講義は、ライブ動画ではないので一方通行な講義を想像していましたが、まるで実際に授業を受けているような身近さがあったのも苦手の民法を続けられた秘訣だと思います。

1講義20分前後というのも、1日1講義は視聴するという目標をクリアしやすかったです。

「ここは全部大事です!」、「宅建ではここまでは問われることはないと思います。」というように、やるべきところのメリハリをつけられたのが、数十年ぶりの塾のようで学生気分になり、試験勉強は厳しいと思いつつも楽しい時間でもありました。

なかなか覚えられない場合についての先生のアドバイスのとおり、とにかくどこでも覚えられるように、暗記したいところは携帯で写真を撮りました。いつでも見られるようにするのは、宅建業法の35条、37条の細かい違いや、法令上の制限などの暗記ものでは、とても役に立ちました。

9月に入り、本格的に過去問を始めましたが、少し前に講義を視聴したところなのに記憶は抜け落ちていて焦るばかりでした。

過去問は問題が見開きページ、解答は必ず次のページを開くと見えるようになっているので、地味ながら、ストレスフリーでした。

年ごと50問ではなく、単元ごと1問ずつ構成されていたので、効率良く、じっくりと問題に取り組みました。

過去問で間違えた箇所はきちんと解説を読んで、演習総合講義で確認。2巡目も間違えた問題は再度演習総合講義視聴、演習総合講義テキストの参照箇所を過去問の解説にメモ、3巡目はABランクの問題だけ1肢ごとに解くつもりで解答し、間違い問題の正解肢、間違い肢、不安な肢だけ書き出してまとめてテキストに自分の間違いの癖を書き込みました。

その後は、宅建業法のABランク問題のみ、法令上の制限のABランク問題のみ、1回以上間違った問題、息抜きを兼ねてCランク問題といろんなテーマを決めて過去問を解き、演習総合講義を倍速で視聴、民法はいつでも空いた時間に演習総合講義を観たり聞いたりしていました。

過去問はできるだけ多く回数をこなそうと思いましたが、実際には何となく問題と解答